

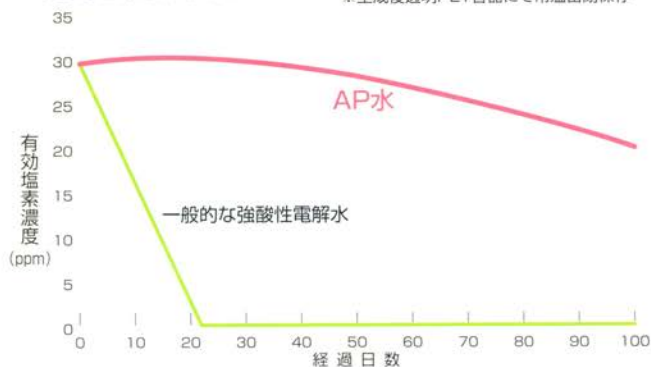
●有効成分は3ヵ月以上持続

AP aqua NeoExは、有効成分が不安定になる(ガス化する)状態を経ることなくAP水を生成する高効率電気分解方式を採用しています。

そのため、生成されたAP水に含まれる有効成分は次亜塩素酸の形態で非常に安定しており、密閉すれば常温非遮光の状態、生成後3ヵ月保存したAP水でも十分な除菌効果が得られます。下の図表にも示されているとおり、一般的な強酸性電解水と比較して有効塩素寿命が非常に長いことがわかります。また、塩素ガスの発生もほとんどなく、安全な環境作りに貢献します。

●有効塩素濃度変化

※生成後透明PET容器にて常温密閉保存



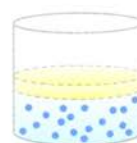
●生成後の形態変化

〈強酸性電解水〉

生成直後

次亜塩素酸 8割

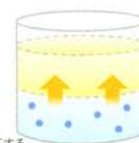
塩素ガス 2割



経時変化

次亜塩素酸 減少

塩素ガス 増加



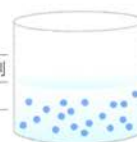
界面付近でガス化が誘発され、水中の次亜塩素酸濃度が低下する

〈中性電解水〉

生成直後

次亜塩素酸 ほぼ10割

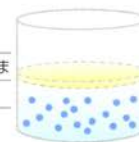
塩素ガス 僅少



経時変化

次亜塩素酸 ほぼそのまま

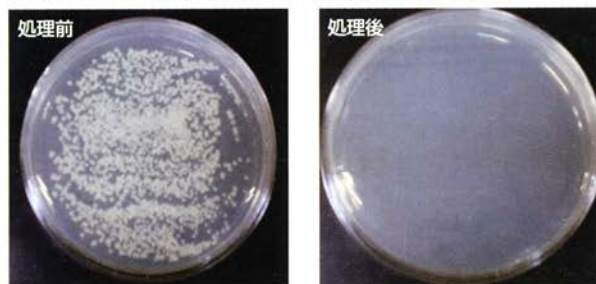
塩素ガス 微量増加



ガス化の反応が少なく、安定して水中に存在する

●黄色ブドウ球菌を使った除菌試験結果

生成後3ヶ月経過したAP水を使用 透明PET容器にて常温密閉保存



●中性付近で少ない刺激

AP水は、有効成分である次亜塩素酸を最も効果の高い状態に保つために、中性付近にpH調整しています。また、高効率電解方式によって原料の食塩を有効に使用するため、生成水の低食塩化(0.03%)を実現しました。

この結果、人体、環境に優しく、金属の腐食の問題も水道水の水準に近づけることができました。

AP水(次亜塩素酸)の効果は、一般的な塩素系消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)の数十～数百倍。

除菌・消臭用の液剤としては塩素系消毒剤が広く知られています。大腸菌やポリオウイルスなどの不活化試験において、AP水に含まれる次亜塩素酸は、一般的な塩素系消毒剤である次亜塩素酸ナトリウムと比較して、約100倍の効果が得られることがわかりました。

水中の有効塩素成分の形態とpHの関係(20°C、溶存物質 100ppm以下の場合)

